平成２８年度　第１回鶴岡市廃棄物減量等推進審議会（概要）

* 日　時　　平成２８年８月２４日（水）午後２時から３時４０分
* 会　場　　鶴岡市クリーンセンター研修室
* 次　第　　１．開会

　　　　　２．委嘱状交付

　　　　　３．会長・副会長選任

４．会長・副会長挨拶

５．議事

（１）平成２７年度鶴岡市廃棄物行政の実績について

（２）平成２８年度鶴岡市廃棄物行政の事業執行について

４．その他

５．閉会

○出席者

委員　　 鶴岡市廃棄物減量等推進審議会委員１１名

事務局　 市民部長、市民部参事（兼）廃棄物対策課長、各庁舎市民福祉課長、他

（名簿別添のとおり）

〇内容

１．.開会

午後２時

２．委嘱状交付

　　　　審議員16人を選任し、委嘱状を交付。

　　　　任期は、平成30年8月23日まで（2年間）

審議会の成立について

鶴岡市廃棄物減量等推進審議会条例第 6条第 2項の規定により、委員の半数以上の出席が成立要件である。審議会委員数 16 名中、11 名の出席があったことから本審議会は成立。

３．会長・副会長の選任

　　　　会長　　　小谷　卓

　　　　副会長　　上野　隆一

４．会長・副会長挨拶（内容省略）

５．議事

　（１）平成２７年度鶴岡市廃棄物行政の実績について

　　 （委員）　ごみの減量が進んでいない。市民の意識は高いと感じているので、知恵を出して推進してもらいたい。

　　 （事務局）市の一般廃棄物処理基本計画でも減量を目指しており、今後とも進めていく。

　　 （委員）　資源回収実績が減少している。雑紙の更なる回収も含め、働きかけが必要ではないか。

　　 （事務局）少子高齢化の影響があるものと思われる。協力団体の拡大や取組み方法など検討していきたい。

　　　　　本案承認

（２）平成２８年度鶴岡市廃棄物行政の事業執行について

　　　　（委員）　ゴミステーションへの排出など１人暮らし高齢者等に配慮した対応を進めてもらいたい。違反ごみが依然としてある。分別が分からないのではないか。

（事務局）ごみ出しについては、地域の支援も必要と考えている。ごみ出しについてはガイドブックのようなものを発行できないか検討している。

　　　　（委員）　新施設の焼却方法はどのように考えているか。

（事務局）ごみの資源化の推進とCO2の排出を抑えるには現在と同じストーカー方式が良いのではないかと思われる。

　　　　（委員）　雑紙の資源化を進めていく必要がある。

（事務局）　他市の例も参考に検討する。

　　　　　本案承認

４．その他

５．閉会　　　午後３時４０分